

## 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・第5回理事会議事録

日時：平成21年6月14日（日）10:00～12:00

場所：沖縄大学

出席（役員）：西平守孝、中野義勝、沖縄県文化環境部自然保護課（久田友弘）、環境省那覇自然環境事務所（小林靖英）、後藤亜樹、中谷誠治、沖縄県衛生環境研究所（城間博正）

委任状：梶原健次、桜井国俊、寺田麗子、渡嘉敷ダイビング協会（平田春吉）、有限会社コーラルクエスト（岡地賢）、八重山サンゴ礁保全協議会（吉田稔）、WWF ジャパン（安村茂樹）、NPO 法人沖縄県ダイビング安全対策協議会（横井仁志）

役員22名中、上記7名（会長、副会長、理事4名、監査役1名）の出席者および 名の委任状（理事 名）により、成立要件である理事の過半数を満たしたので成立、内容を協議し決定した。（第5回理事会の議事録署名は上田理事、小林理事が行うこととなった。）

### 1) 第二回総会について

#### 総会の進め方

- ・司会を別に立てて、進行を議長とするなど工夫が必要との意見が出された。  
議案の「4）その他理事会において必要と認めた事項」で総会について議論した。

#### 交流会の進め方

- ・交流会は参加人数が少ないこと、話題提供者がいないため、前回と同様にポスター発表の形式とする。
- ・司会の中野副会長
- ・飲食等については、茶菓子等を準備する。 当日手がまわらず用意できませんでした。すいません。（事務局より）

### 2) 事務局の経費等について

#### 事務局の現在の実情

- ・資料の印刷、郵送経費は自然保護課で負担。ファックスの授受は沖縄県環境科学センター（沖環科）と自然保護課の両方で。HP とメーリングリストの管理は沖環科が担当。
- ・助成金は事業を対象に助成するものが多く、協議会の運営資金を得るのは難しい。
- ・理事会（3回）、交流会等の会場費と郵便代を工面する必要がある。 美ら海水族館、名桜大学、漫湖水鳥センターが無料で利用できる。

### 考えられる金策

1. 会員から会費を集める
2. ボランティアでできることしかやらない
3. グッズ販売などで、お金を稼ぐ
4. 協力者を捜し、検討する
5. 助成金を申請する
6. 寄付を募る

### 上記金策への意見

- ・寄付を受けるとしても理事の間でいろいろな議論があったため、寄付に対してきちんと議論する必要がある。個々の寄付に対して、資金調達委員会だけでなく、理事会でもきちんと話し合う必要がある。
- ・協議会ができて日が浅く、会員へのメリットが明確でないため、会費は集めない。
- ・コストをかけない方法を検討する。例えば、資料の郵送が必要ない人へはメールで資料等を送付する。
- ・資料にある「ボランティアでできることしかやらない」というのは、資金調達の努力もしないということで、協議会の発展性がない。ボランティアだけと限定することはしない方がよい。

### 協議会の金策についての今後の方向性

- ・資金調達の方法を、資金調達委員会だけに頼ることなく色々な方法でやっていく。会費は取らない。活動はボランティアだけに限らず、助成金などを申請し、資金を調達して活動も積極的に実施できるよう努力する。助成金の申請は、事務局が作ったり、会員から出てきたものをサポートしたり、一緒にやったり、有志で対応したり、方法は模索する。

## 3) 今年度事業の実施について

### 沖縄県のサンゴ礁についての現状取りまとめ

- ・サンゴ礁を保全に関する問題を収集し、サンゴ礁の現状を共有するためのアンケートを昨年度からホームページ上で集めている。  
今年度もそのまま続け、メーリングリスト等を活用し、宣伝を行う。
- ・中谷委員を中心に、アンケート結果をフィードバックする方法を検討する。
- ・会員の活動内容、専門性、提供できるサービスなどを収集し、サンゴ礁保全に関する人材情報の蓄積は、自然保護課作成のプログラム集を活用するとよい。また、今年で完結す

るのではなく、目標とするとよい。

### **沖縄県におけるサンゴ礁保全についての提案**

- ・今のところ作業はしていない。 の現状評価を踏まえて、理事会で今後沖縄県のサンゴ礁保全について、どのようなことを行っていけばよいか、議論して提言を出せばよいと思う。
- ・保全である特定の地域を問題にするのではなく、サンゴ礁の成り立ちや、移植の手法などに関するワークショップや勉強会を企画してはどうか。（西平会長企画）
- ・いろいろな場で、ポスターなどを張り出すことも保全についての提案になるのではないかと。ポスターを送るだけなら、費用もそんなにかからない。

### **自然資源に関する地域での意識調査**

- ・WWFJ と協議会と協働で行う。協議会のネットワークを利用して、WWFJ の資金を利用して実施する。
- ・成果を協議会のホームページで共有するなどしたい。

### **資金調達に関する戦略の検討**

- ・次回理事会で平井さんより案を提案する。
- ・今回の理事会でも議論した（事務局の経費について）。

### **その他活動に必要な事項**

出席者より次のようなアイデアが出された。

- ・いろいろな質問への対応。特にコーディネーターの役割。
- ・「 沖縄県におけるサンゴ礁保全についての提案」の活動で、出てきた意見を共有して、意見を出し合って、その他の活動につなげてはどうか。
- ・会員向けのメーリングリストの活性化。
- ・離島の会員と連携した研修会等の開催。
- ・参加費を取ってやっている団体や活動の邪魔をしないようにするべき。

## **4 ) その他理事会において必要と認めた事項**

### **寄付金申請書について**

- ・用途を選ぶのではなく、用途を指定するかどうかを選べるようにする。
- ・名前の公表について確認する欄を追加する。
- ・寄付金申請書を修正し、メーリングリストで確認する。

### **協議会収支予算案についての修正**

- ・収入の助成金の努力が60万までいくかどうかわからないので、40万にし、現在申請中なので、「申請中および予定」とする。
- ・支出のところ、前の提案では、「2 ) WWF」の項目は、協議会が70万支出すると言

う意味になるが、そうではなく、WWF が協議会と連携し、WWF が 70 万を負担して活動する、という意味なので、収支予算からはずすべき。

・県からの 50 万の事業を想定して、収入に 50 万としてあるので、それを受けた場合の支出として に 50 万を加えた。

・下記の通り修正し、総会に準備した。総会ではプロジェクターでスクリーンに投影した。

## 第五号議案 平成 21 年度の収支予算改訂(案)

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日までの収支予算(案)を次のとおり修正したい。

### 収 入

1) 県受託による事業費	500,000 円	(申請予定)
2) その他助成金等	400,000 円	(申請中および予定)
3) 寄付	100,000 円	(猪澤理事ほか)

---

収入合計 1,000,000 円

### 支 出

1) 協議会の運営費		
会議費	理事会開催費	100,000 円 (3 回程度開催)
	総会開催費	50,000 円 (1 回開催)
消耗品費		100,000 円
通信費		100,000 円
	小計	350,000 円

2) 保全活動の推進事業費		
沖縄県のサンゴ礁についての現況とりまとめ		50,000 円
沖縄県におけるサンゴ礁保全についての提案		50,000 円
資金調達に関する戦略的方法の検討		50,000 円

県の受託事業に関わる経費など、その他の活動に関わる事項

500,000 円

---

小計 650,000 円

---

支出合計 1,000,000 円

黄色部分を修正して提案いたします。